

「災害から身を守ろう」

木曽郡上松町立上松中学校 P T A

1. 学校紹介

生徒数 92 名 教員数 13 名

令和 4 年度 上松中学校グランドデザイン 「自ら学ぶ」を主目標として、
個の成長、郷土への愛着、集団の成長を図ることを目指す。

2. 組織

3. P T A 運営の状況 (P T A 総会、資源回収、)

1 研究テーマ

「災害から身を守ろう」 木曽消防署

2 研究テーマ設定の趣旨

- ・例年、P T A (保護者)を中心に講演会等を開催していたが、子どもたちも同じ講演を受けることにより「親子で考える機会」となるきっかけを作りたい。
- ・コロナ禍であるため、密着・密接を避けた開催方法の模索。通信機器を利用した開催方法について学ぶ。

3 研究内容

木曽消防署から講師を招き、災害時に自分や家族の身を守るためにどのような行動をとるべきかを保護者も生徒も学び、家族で考える機会を作る。
コロナ禍の状況で、三密(密閉、密集、密接)の感染防止対策として生徒は講堂で講演を受け、Z O O Mによるオンライン映像を各学年の教室で保護者が受けることとした。

- ①災害時の講演を親子で聞くことにより、家族内で災害時の対応方法を考えるきっかけとしたい。
- ②コロナ禍での講演会については、大人数での開催が難しいが、部屋を分けることにより密集を避けて開催することとした。また、各会場でも十分な距離が保てる人数とする。
- ③その場での質問や意見も聞けるよう、オンラインで講堂と各教室をつなぐ。
- ④学校の各教室の備品(G I G A スクール構想含む)を借用。
- ⑤学校としても新しい機材の利用方法について学習する。
- ⑥新しい会議や講演の方法を経験する、考える。

4 研究の成果

生徒 92 名、保護者 51 名、教員 10 名

保護者からの意見

- ・災害時の身の守り方など、親子それぞれが違う機会で聞くことはあるが、同じ講演を受けることにより、家族間で意思疎通ができるいい機会となった。
- ・家族で話し合い、防災マップの確認、避難方法や避難場所を確認しておきたい。
- ・学校の機器が充実していて驚いた。
- ・密集を避けるべき時期だったため出席するか考えたが、十分距離を保って集まることができた。

学校からの意見反省

- ・新しい機材を使うはじめての機会だったため、準備段階でZOOM用P a dとスクリーンをつなぐケーブルが不足していることに気が付けてよかった。
- ・今後の学校行事でも三密を避けるべき時期の集会等を各教室で参加させるための練習となった。

役員からの意見反省

- ・いろいろな意見や質問に対応できるよう、各会場からの発言に対して順番も決めていたので良かったと思う。
- ・各会場では、密接ではないが話し合いながら講演を聞いた。
- ・資料の配布はしていたが、画面に映る文字までは見にくかった。資料を大きく映すなども出来ればよかったと思う。「画面共有」の方法なども取り入れてみたい。
- ・学校の資機材（G I G Aスクール関係）を保護者が見て知ることができ良かったと思う。

5 今後の課題

- ・今回は大きく「災害」をテーマとしたが、他にも親子で考えることができるテーマについて検討していく。
- ・今後の状況にもよるが、さらなる応用や新しい開催方法について検討していきたい。